

# 第35回 タオルを贈る運動

スタートから  
35年

## 贈ったタオルのべ 247万枚!

組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、  
生産者の「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という想いがつながり、  
生まれたのが、低めの温度で殺菌するパルシステムの牛乳。  
生産現場では、清潔な環境を保つため、たくさんのタオルが必要になります。  
そこで、1985年にスタートしたのが「タオルを贈る運動」です。  
昨年はタオル54,713枚、メッセージ4,366通を産地に贈りました。  
長い歴史を引き継ぐため、ご協力よろしくお願ひします。

産地では

### こんなふうに使っています



◀乳房を  
ふいて清潔に  
することで  
生乳の菌数が  
抑えられます

◀タオルは  
洗って繰り返し  
大切に使い、  
1ヶ月くらいで  
新しいタオルに  
取り替えます

▲牛がびっくりしない  
ように、ぬるま湯に浸した  
タオルで乳房をふきます

・生産者より

組合員さんのタオルで  
本当に助かっています!

贈ってもらったタオルは、1日2回の搾乳の前、牛の乳房をふくのに使っています。子牛が生まれたとき、羊水でぬれた体をふくのにも必要です。たくさんのタオルがあると大助かりなんです。組合員さんの心のこもったメッセージもうれしいですね。その声にこたえてがんばろうとモチベーションが上がります。本当にありがとうございます。

『いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳』  
の生産者 西館尋也さん



### こんなタオルをお願いします

色

白がベスト

(牛の乳房などをふいている  
ときに出血などがわかるため)  
色柄物でも構いません  
(作業用具などの清掃に使います)

大きさ

フェイスタオル  
がベスト

バスタオル・  
ボディタオルもOK

未使用

のし紙や袋は  
そのまま  
大丈夫

(未使用だとすぐにわかるため)



ハンドタオル

(小さすぎるため)



てぬぐい

(うすいため)



使用したタオルは  
洗濯済みでも

ご遠慮ください

